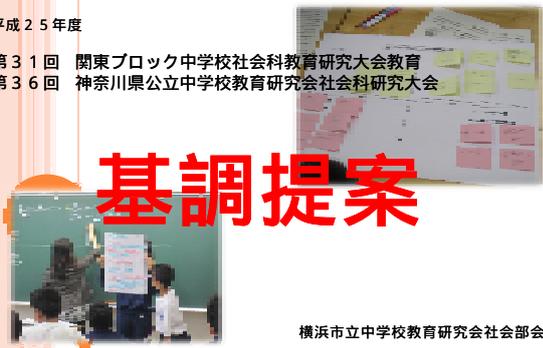


平成25年度  
 第31回 関東ブロック中学校社会科教育研究大会教育  
 第36回 神奈川県公立中学校教育研究会社会科研究大会



# 基調提案

横浜市立中学校教育研究会社会部会

## 研究テーマ

### 生徒に思考させるための 教師の役割

～思わず考えたくなる授業をめざして～

### 学びの質を高めるために

- ・生徒が考える場面のある授業づくり
- ・教師が適切な支援や働きかけをする

### 生徒に思考させるための教師の役割

～思わず考えたくなる授業をめざして～

- 予想・予測する（単元の初めでイメージを出し合うなど）
- 想像する（絵日記など）
- ひらめく（ブレインストーミングなど）
- 筋道を立てる（レポート作成など）
- 立場をかえる（ディベートなど）
- 関連づける（リンクマップなど）
- 順位をつける（ダイヤモンドランキングなど）
- 立場になる（ロールプレイなど）
- 区分する（KJ法など）
- 意見を話す・聞く（議論、話し合いなど）
- 比較する（ディベートのジャッジなど）
- 立案する（プランニングなど）
- 選択する（ディベートのジャッジなど）
- 評価する（相互評価など）
- 規則性を見つける（単元のふりかえりなど）
- 再構築する（ポートフォリオやノートを整理するなど）

**A 生徒の考えが広がる場面**  
 「予想・予測する」「想像する」「ひらめく」など

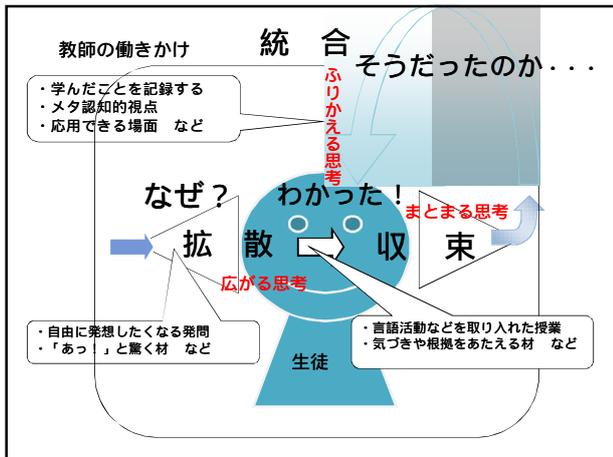
**B 生徒の考えがまとまる場面**  
 「筋道を立てる」「関連づける」「順位をつける」「比較する」「選択する」など

**C 生徒が考えをふりかえり、応用する場面**  
 「評価する」「規則性を見つける」「再構築する」など

## 研究仮説

教師が **拡散 収束 統合** を意識して、  
単元をつくると・・・

生徒が**思わず考えたくなる**  
**授業につながる**



## 実践による検証 授業構成

地理的分野「なぜ関東地方に人口が多いのか」

- ・「拡散 収束 統合」を意識した授業構成  
学びの質を高める。

## 実践による検証 拡散

地理的分野「中国・四国地方の人口分布」

- ・生徒の驚きを与える材や発問の工夫
- ・生徒の思いを引き出す支援  
拡散を促す

## 実践による検証 収束

公民的分野「50年後の日本の社会保障制度はアメリカ型かスウェーデン型かどちらがいいか」

- ・考えをまとめる必要のある授業方法
- ・自分の意見の根拠となる具体的な材
- ・話し合いを図式化する工夫  
収束をうながす

## 実践による検証 統合

アルバムシートの検証

- ・考えたことをふりかえる 別の学習で生きる
- ・学習したことを、前に学習したと結びつけたり、構造化させたりする。  
統合をうながす

地理的分野 世界の諸地域 北アメリカ州  
「食卓から何が見えるか」

歴史的分野 近世の日本 江戸幕府の成立  
「なぜ江戸幕府は長く続いたのか」

公民的分野 私たちと経済 消費  
「財布の中から経済を学ぼう」

どのような点が生徒の思考を促す  
工夫になっている。

自分だったら、ここを工夫する。  
など